

また、インドネシアには日系企業もたくさん進出しており、現在 14,000 人の駐在日本人がいます。偕行会はインドネシアの医療の質を上げること共に、14,000 人いる駐在日本人の方が安心して受けられる医療体制を構築していくことを目標としています。

インドネシアのクリニックではどんなことをしているのか？

現在 当院(KAIKOUKAI CLINIC SENAYAN)では、日本人の患者さんを対象に総合内科診療・小児科診療を行っています。営業時間は8:00から22:00と お仕事帰りの方も来院できる時間になっています。

駐在日本人の方はご家族が帯同で来られていますので、お子さんの病気も多いです。

南国特有の病気もたくさんあり、日本でも話題になったデング熱や腸チフスといった病気もインドネシアでは珍しい病気ではありません。当院では他のクリニックよりも急性疾患を早く見つけることが重要だと考えています。

また日本人の皆さんが困っていることを今後当院では提供していこうと考えています。その1つがメンタル面でのフォローアップです。やはり慣れない、それも外国で仕事をされているとメンタル面で病気になってしまう方もいます。

我々は日本の心理カウンセラーと提携をして、メンタルケアが必要な患者さんへテレビ電話を通じてカウンセリングができるようなシステムを構築していく予定です。

また、インドネシアには多くの糖尿病患者さんがいます。2030 年までには糖尿病と診断された、または未診断ではあるが糖尿病である人が 2,000 万人を超えと言われています。

ただし、日本の糖尿病治療に比べてまだまだ医療の質は低いのが現状です。偕行会グループの患者さんは足の血行を良くする炭酸泉治療はよくご存じだと思いますが、インドネシアには炭酸泉治療を行える医療機関はありません。このように糖尿病だけではなく、日本で培った医療ノウハウをインドネシアに移譲してインドネシアの医療の質を向上させることを目指して日々頑張っています。

日本式医療の提供を目指して

現在当院では、医師、薬剤師、看護師、放射線技師、臨床検査技師の医療従事者が働いています。日本人医師も1人駐在していますが、残念ながらインドネシアではインドネシアの医師免許しか認められていないので、診療行為はできません。